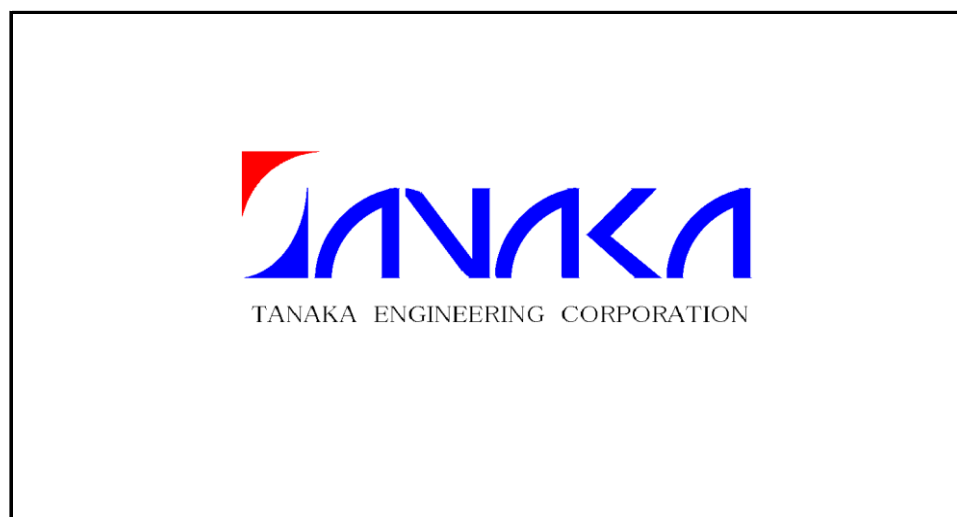


株式会社田中工務店

2014年度 環境活動レポート

(対象期間:2014年10月～2015年9月)



発行日： 2016年2月26日

ごあいさつ

株式会社田中工務店は、昭和58年の設立以来、建設工事業を通して地域社会の発展に尽力してまいりました。全従業員が地球環境の保全の重要性を認識し、環境負荷の低減に努めることにより、美しい国土の維持、人と環境が共存する社会を目指して取り組んでまいります。

環境方針

当社は、建設工事の各事業分野において、地球環境の保全のために、環境負荷の一層の低減を図るべく、全社一丸となって、自主的・積極的に環境への取組を推進します。

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守する。
2. 二酸化炭素排出量の削減を推進する。
3. 廃棄物の削減及び再生利用を推進する。
4. 建設リサイクル、再生資源の利用を推進します。
5. 水道使用量の削減を推進する。
6. グリーン調達を推進する。
7. 環境に配慮した施工方法を取り入れる。
8. 化学物質の適正管理を推進する。
9. 本方針を全従業員に周知徹底します。

制定日：2013年3月31日

改定日：2016年2月25日

代表取締役社長 田中 政教

□組織の概要

- (1) 名称及び代表者名
株式会社田中工務店
代表取締役 田中 政教
- (2) 所在地
本 社 千669-5212 兵庫県朝来市和田山町柳原188番地
工 場 千669-5212 兵庫県朝来市和田山町柳原219番地
駅北営業所 千669-5204 兵庫県朝来市和田山町駅北8-32
資材倉庫(東和田) 千669-5227 兵庫県朝来市和田山町東和田367-3
資材倉庫(金浦) 千669-5115 兵庫県朝来市山東町金浦670
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
責任者 専務 田中 浩 TEL:079-672-2619
担当者 事務部 中井 和成 TEL:079-672-2619
E-Mail : nakai@tanaka-net.jp
- (4) 事業内容
土木工事業、建築工事業、とび・土工工事業、ほ装工事業、造園工事業、水道工事業、森林整備業
宅地建物取引業、
許可番号 兵庫県 第600622号 許可年月日 平成27年12月28日
許可期限 平成32年12月27日
- (5) 事業の規模
設立年月日 昭和58年10月1日
資本金 2千万円
売上高 6.15億円(25年度実績)
各事業所の規模

	本社	駅北営業所	工場	資材倉庫	資材倉庫	合計
従業員	23名	3名	無人	無人	無人	26名
延べ床面積	240m ²	139m ²	817m ²	468m ²	365m ²	2,029m ²

*工場は、常時作業員がいる状況でないため無人とする。

- (6) 事業年度 10月～翌年9月

□認証・登録の対象範囲

登録組織名: 株式会社田中工務店
対象事業所: 本社、駅北営業所、工場
資材倉庫(東和田)、資材倉庫(金浦)

活動: 土木工事業、建築工事業、とび・土工工事業、ほ装工事業、造園工事業
水道工事業、森林整備業、宅地建物取引業

□主な環境負荷の実績

項目	単位	2012年度	2013年度	2014年度 基準年度
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	151,470	174,017	132,599
電力	kWh	38,362	31,920	37,626
ガソリン	L	27,436	29,281	24,760
軽油	L	26,100	34,206	21,583
LPG	kg	611	1,000	886
灯油	L	1,765	1,159	1,150
廃棄物排出量	t	60	68	636
一般廃棄物	t	33	36	1
産業廃棄物	t	27	32	635
総排水量	m ³	578	578	505

□環境目標及びその実績

(1) 中長期目標

年度		2014年度 基準年度	2015年度	2016年度	2017年度
I. 二酸化炭素 排出量合計	kg-CO ₂	132,599	131,273	129,960	128,661
電力使用量削減	kWh	37,626	37,250	36,877	36,508
	kg-CO ₂ 対基準	13,771	13,633	13,497	13,362
			△1%	△2%	△3%
ガソリン 使用量削減	L	24,760	24,512	24,267	24,025
	kg-CO ₂ 対基準	57,484	56,909	56,340	55,777
			△1%	△2%	△3%
灯油 使用量削減	L	1,150	1,139	1,127	1,116
	kg-CO ₂ 対基準	2,865	2,836	2,808	2,780
			△1%	△2%	△3%
LPG 使用量削減	kg	886	877	868	860
	kg-CO ₂ 対基準	2,660	2,633	2,607	2,581
			△1%	△2%	△3%
軽油 使用量削減	L	21,583	21,367	21,153	20,942
	kg-CO ₂ 対基準	55,818	55,260	54,707	54,160
			△1%	△2%	△3%
II. 廃棄物排出量	t	636	628.0	623.0	617.0
	対基準		△1%	△2%	△3%
一般廃棄物 削減	t	1	1.0	1.0	1.0
	対基準		△1%	△2%	△3%
産業廃棄物 削減	t	635	628.0	622.0	616.0
	対基準		△1%	△2%	△3%
建設リサイクル 率の向上	%	92.3	93	94	95
	対基準 (実績調査)		+0.7	+1.7	+2.7
III. 水使用量 削減	m ³	505	500	495	490
	対基準		△1%	△2%	△3%
IV. グリーン購入	品目	4	5	6	7
	対基準				
V. 環境配慮商品 の情報収集・提案	件	6	7	8	9
	対基準				
VI. 化学物質の適 正管理	-	適正管理	適正管理	適正管理	適正管理
	対基準	-	-	-	-

注1) 電力の二酸化炭素排出量への排出係数は、平成22年度関西電力公表の0.366kg-CO₂/kWhを使用。

注2) 中長期目標は、2014年度を基準年度として目標再設定した。

(2) 運用期間の実績

項目	年度	運用期間における実績 (2014年10月～2015年9月)				
		2013年度	目標	実績	達成度	評価
		基準年度				
I. 二酸化炭素 排出量合計	kg-CO ₂	174,017	172,273	132,599	130%	○
	対基準		△1%	-23.0%		
電力 使用量削減	kWh	31,920	31,600	37,626	84%	×
	kg-CO ₂ 対基準	11,682	11,565	13,771		
ガソリン 使用量削減	L	29,281	28,988	24,760	117%	○
	kg-CO ₂ 対基準	67,980	67,300	57,484		
灯油 使用量削減	L	1,159	1,147	1,150	99.7%	×
	kg-CO ₂ 対基準	2,888	2,859	2,865		
LPG 使用量削減	kg	1,000	990	886	112%	○
	kg-CO ₂ 対基準	3,002	2,972	2,660		
軽油 使用量削減	L	34,206	33,863	21,583	157%	○
	kg-CO ₂ 対基準	88,464	87,579	55,818		
II. 廃棄物排出量	t	68	67.2	636.0	11%	×
	対基準		△1%	846.4%		
一般廃棄物 削減	t	36	35.6	1.0	36	○
	対基準		△1%	-97.2%		
産業廃棄物 削減	t	32	31.6	635.0	5%	×
	対基準		△1%	1909.5%		
建設リサイクル率 の向上	%	実績不明	実績調査	92.3%		○
	対基準					
III. 水使用量削減	m ³	516	510	505	101%	○
	対基準		△1%	-1.0%		
IV. グリーン購入	品目	1	2	4	200%	○
	対基準		1	100.0%		
V. 環境に配慮した 施工方法の実績	件	6	7	6	86%	○
	対基準		1	-14.3%		
VI. 化学物質の適 正管理	-	適正管理	適正管理	取組良好		○
	対基準	-	-	-		

注1) 評価欄にて、○：達成、△：やや未達成、×：未達成

注2) 実態調査中のものは、来期より取り組み開始する。

□環境活動計画及び取組結果とその評価、次年度の取組内容

◎よくできた ○まずまずできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画		達成状況	評価結果と次年度の取組内容
I 二酸化炭素排出量の削減			(目標達成)
全体	・下記事項の遵守	○	下記参照
電力使用量の削減			(目標未達成)
全体	・空調温度の適正化 (冷房28℃暖房20℃)	×	駅北営業所の人員を常駐としたため、エヤコンの使用頻度が 階段での消し忘れなど、不要照明の消灯を徹底する。 昼休みなど長時間不使用時には対応できたが、もっとこまめに入・切の操作をする。
	・不要照明の消灯	×	
	・設備の空転禁止	×	
ガソリン使用量の削減			(目標達成)
全体	・不要なアイドリングストップ	○	引き続きエコドライブを実行する。 普段より安全運転に注意しているのでまずまずできた。 もっと無駄を省く計画性が必要と思われる。
	・急加速・急停車の防止	○	
	・効率的な移動	○	
軽油使用量の削減			(目標達成)
現建設	・不要なアイドリングストップ	○	引き続きエコドライブを実行する。 普段より安全運転に注意しているのでまずまずできた。 もっと無駄を省く計画性が必要と思われる。
	・急加速・急停車の防止	○	
	・効率的な移動	○	
灯油使用量の削減			(目標未達成)
全体	・ストーブの使用基準の作成	×	不在時の消火の管理を徹底する もっと省エネ意識を持たせ、ムダな使用を無くして行く。 大体出来てきた。
	・室温管理 (20℃を基準)	×	
	・部屋開放の禁止	○	
LPG使用量の削減			(目標未達成)
体全	・効率的な使用を心がける	×	作業工程を効率的に行い不使用時には、早めに消火する。 舗装用のガス使用量が多かった。
		△	
II 廃棄物排出量の削減			
一般廃棄物の削減			(目標未達成)
	・カタログ類を少なくする	×	カタログ類の請求を出来る限りネット利用に変更する。
産業廃棄物の削減			(目標未達成)
全体	・分別解体徹底	×	分別解体の徹底 正確な排出量を把握しながら、削減に努める。
	・来年度以降の目標設定	×	
建設リサイクル率の向上			(取組目標達成-実績把握)
全体			2014年度のリサイクル率は92.3%であり、これを基準値として2015年度より向上目標を設定して下記の取組を推進してリサイクル率の向上を図る。
	・木くず・段ボール等リサイクルを推進する。	○	木くずはチップ・肥料等又、段ボールなどもリサイクル業者へ納入している リサイクル業者にすべて搬出している
	・コンクリート殻、アスファルト殻等リサイクルを推進する。	○	
III 水道水使用量の削減			(目標達成)
全体	・節水の周知徹底	○	節水の呼びかけにより達成できたが、より徹底をはかる。 簡単なポスター等を掲示した結果、意識が向上した。 より多くの工夫ができるようにする。
	・節水シールの貼り付けとポスター掲示	○	
	・清掃時・手洗い時の節水	△	
IV グリーン購入の推進			(目標達成)
事務所	・事務用品の購入対象品目	△	月々の購入物のリストアップを継続する。 対象品目と金額のデータを収集している。
	・事務用品の購入比率調査	△	
	・来年度以降の目標設定		
V 環境配慮施工の取組推進			(目標未達成)
全体	・工事分野別の技術・ノウハウの収集	×	高気密高断熱住宅の推進 WB工法の住宅推進
VI 化学物質の適正管理			(取組目標達成)
工事現場	SDS、取説に準拠して防蟻剤の適正管理実施。	○	・適正量の使用 ・保管管理 ・環境への拡散防止等により適正管理出来ている。
		○	
		○	

□環境関連法規等の遵守状況の評価の結果

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	遵守する事項	遵守評価
廃棄物処理法	保管基準の遵守、収集運搬・処分業者との適正な契約、マニフェストの交付・保存・確認・交付状況等報告書の提出	遵守
騒音・振動規制法 朝来市公害防止条例	特定建設作業の届出、規制基準の遵守	遵守
建設リサイクル法	建築物等の分別解体義務、事前届出 特定建設資材廃棄物の再資源化義務	遵守
建築基準法	シックハウス対策、クロルピリホスの使用禁止、石綿使用禁止	遵守
自動車NOx・PM法	規制対象車両の登録禁止 規制対象車両の指定地域通行禁止	遵守
大気汚染防止法	特定粉じん排出等作業の実施の届出、作業基準の遵守	遵守
オフロード法	基準に適合した特定特殊自動車の使用点検整備、適正燃料使用	遵守
消防法	消火設備・火災警報設備の点検整備、	遵守

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は3年間遵守されていることを確認しました。

□代表者による全体の評価と見直し

この活動を始めて2年目となりました。これまで目を向けていなかったことに対して気をつけていかなければならない点が多くあることを知ることが出来ました。
 まだまだ、見えていない点があるように思いますが、職員からの意見を取り入れていくことにより、前向きな行動ができつつあり意識の向上が図れているように思います。
 来期は実績値の拾いだしがより詳細に出来るよう職員間で持ち分の分担をしていきたいと思ひます。

□環境活動の紹介



<蓄熱暖房>



<環境配慮の施工>



<高気密高断熱仕様>



<太陽光発電システム施工>